

## 2023年度 講義要項（授業計画）

		実務経験のある教員等による授業科目				<input checked="" type="checkbox"/>	
科目名	運動機能解剖学			担当講師	米田 彰		
分 野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験	理学療法士としての実務経験		
単位数	2 単位	時 間	46 時間	学 年	1年次	学 期	前期
概 要	疾病・障害を診るために、人体の正常な形態と構造を理解する必要がある。運動機能解剖学では、解剖学の中でも特に運動に関係する骨・靭帯・筋の名称と構造について学ぶ。さらに、構造的な骨・筋の理解と合わせて、人間が行う基本的な運動の中でどのように機能しているのかも併せて学ぶ。						
到達目標	骨・靭帯・筋の構造を運動と合わせて理解すると共に、体幹・上肢・下肢の骨・靭帯・筋がどのように機能しているかを学び、運動機能に関する知識を深める。 1 体幹・上肢・下肢の骨・靭帯・筋・神経の名称が言える。 2 体幹・上肢・下肢の骨・靭帯・筋・神経の構造と機能が説明できる。						
回	授 業 計 画 ・ 内 容						
1	オリエンテーション、総論						
2	キーワード、人体の骨						
3	上肢帯・上肢の骨（肩甲骨、鎖骨、上腕骨、橈骨、尺骨、手根骨、指骨）						
4	下肢帯・下枝の骨（寛骨、大腿骨、膝蓋骨、脛骨、腓骨、足根骨、趾骨）						
5	下肢帯の骨（寛骨）						
6	下肢の骨（大腿骨、膝蓋骨、脛骨、腓骨）						
7	下肢の骨（足根骨、中足骨、趾骨）						
8	下肢の筋						
9	大腿の筋						
10	下腿の筋、足部の筋						
11	下肢筋まとめ（起始・停止）						
12	下肢筋まとめ（実技）						
13	下肢筋小テスト						
14	上肢帯の骨（肩甲骨、鎖骨）、上肢の骨（上腕骨）						
15	上肢の骨（橈骨、尺骨）（手根骨、中手骨、指骨）						
16	上肢の筋、上腕の筋						
17	前腕の筋、手部の筋						
18	上肢筋まとめ（起始・停止）						
19	神経、靭帯						
20	神経、靭帯						
21	上肢筋小テスト						
22	終講試験対策講義						
23	終講試験（筆記）						
評価方法	終講試験に基づいて学修成果を判定する。						

教科書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版 プロメテウス解剖学コアアトラス 第3版 基礎運動学 第6版補訂 医歯薬出版株式会社
参考書	
備 考	※運動学、解剖学と関わります。 ※理学療法評価学基礎Ⅰ・Ⅱ、体表解剖学Ⅰ・Ⅱにもつながっていきます。 ※しっかりと自己学習（予習・復習）して下さい。

## 2023年度 講義要項（授業計画）

					実務経験のある教員等による授業科目		<input checked="" type="checkbox"/>
科目名	基礎解剖生理学			担当講師	佐藤 正一		
分 野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験	理学療法士としての実務経験		
単位数	2 単位	時 間	46 時間	学 年	1年次	学 期	前期
概 要	人体の構造と機能および生命維持のメカニズムを学び、人体理解の基礎を身につけることで、解剖学・生理学でのより具体的な学習へ結びつける。						
到達目標	身体機能・構造と生命維持のメカニズムが統合して解釈できる。 生命体の最小単位である細胞や人間の生命維持活動に必要な機能について理解する。 さらに、身体を構成する組織・器官を筋・骨格系、神経系、内臓諸器官系に大別し、これらの構造と機能について学ぶ。						
回	授 業 計 画 ・ 内 容						
1	ガイダンス、人体各部の構造と機能について						
2	骨格と関節						
3	細胞の構造と機能①						
4	細胞の構造と機能②（骨の構造）						
5	細胞の構造と機能③（筋の構造）						
6	筋の機能						
7	内臓系①（呼吸器系）						
8	内臓系②（心臓・循環器系）						
9	血液①						
10	血液②						
11	消化と吸收						
12	消化と吸收						
13	排泄のメカニズムと体液の調整						
14	排泄のメカニズムと体液の調整						
15	神経系①（神経系の構造）						
16	神経系②（中枢神経系）						
17	神経系③（中枢神経系）						
18	神経系④（末梢神経系）						
19	神経系⑤（末梢神経系）						
20	免疫系（体温調整）						
21	内分泌系の構造と機能①						
22	内分泌系の構造と機能②						
23	筆記試験						
評価方法	筆記試験にて評価する						

教科書	系統看護学講座「人体の構造と機能① 解剖生理学」 医学書院
参考書	解剖生理をおもしろく学ぶ サイオ出版
備 考	

## 2023年度 講義要項（授業計画）

## 2023年度 講義要項（授業計画）

## 2023年度 講義要項（授業計画）

23	運動調節機構①
24	運動調節機構②
25	呼吸器系（生理）①
26	呼吸器系（生理）②
27	循環器系①
28	循環器系②
29	老化
30	筆記試験

評価方法	筆記試験にて評価する
教科書	やさしい生理学 改訂第6版 南江堂
参考書	なし
備 考	

## 2023年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	オリエンテーション
2	胎児期における発達過程
3	乳・幼児期における発達過程
4	小児期における発達過程
5	青年期、成人期、老年期における発達過程
6	各期における健康面の課題
7	各期におけるライフスタイルの変化
8	期末試験

評価方法	出席、レポート、筆記試験等を加味し総合的に評価する
教科書	配付資料
参考書	生涯人間発達（三輪書店） 子どもの理学療法（神陵文庫）
備 考	演習形式の授業を取り入れる。学生の理解度によって授業内容を変更する。

## 2023年度 講義要項（授業計画）

教科書	運動療法のための機能解剖学的触診 上肢 改訂第2版
参考書	プロメテウス解剖学コアアトラス 第2版 基礎運動学 第6版補訂 医歯薬出版株式会社
備 考	※しっかりと自己学習（予習・復習）してきて下さい。

## 2023年度 講義要項（授業計画）

教科書	運動療法のための機能解剖学的触診 下肢 改訂第2版
参考書	プロメテウス解剖学コアアトラス 第3版 基礎運動学 第6版補訂 医歯薬出版株式会社 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版
備 考	※しっかりと自己学習（予習・復習）してきて下さい。

# 2023年度 講義要項（授業計画）

				実務経験のある教員等による授業科目		<input type="checkbox"/>
科目名	解剖学見学実習			担当講師	塚田 幸行・西野 正洋・青山 広道・小川 博之・武藤 久司	
分 野	専門基礎	授業方法	講義・演習	実務経験		
単位数	1 単位	時 間	30 時間	学 年	2年次	学 期
概 要	解剖学・運動機能解剖学を基にして人体の構造を系統的に観察し、理解する。骨格系・筋系、血管系・神経系および内臓の形態と位置関係を肉眼的なレベルで立体的に把握することで、人の正常な形態と機能についてや個人差の存在を知る。また、疾患における形態や機能の変化を推測し得る能力を学ぶ。					
到達目標	体表から触知できる骨・筋や浅部に位置する神経・血管・リンパ節などを確実に把握すること、深部に位置する筋や臓器を体表へ投影してその位置関係を確認し把握する。					
回	授 業 計 画 ・ 内 容					
1	解剖学見学実習総論、下肢、神経					
2	末梢神経					
3	脳神経（1）					
4	脳神経（2）					
5	肩関節					
6	肘関節					
7	手関節					
8	下肢					
9	解剖学見学実習オリエンテーション					
10	解剖学見学実習（学外実習）：筋、神経、内臓（1）					
11	解剖学見学実習（学外実習）：筋、神経、内臓（2）					
12	解剖学見学実習（学外実習）：筋、神経、内臓（3）					
13	解剖学見学実習（学外実習）：筋、神経、内臓（4）					
14	腹腔・その他					
15	神経					
評価方法	出席、課題等を加味し総合的に評価する。					
教科書	プロメテウス解剖学 コアアトラス 医学書院					
参考書	人体解剖学（改訂第42版） 南江堂					
備 考						

## 2023年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	公衆衛生学概論、健康と環境、健康の指標
2	感染症とその予防、食品保健と栄養
3	生活環境の保全、医療介護の保障制度
4	地域保健活動、母子保健
5	学校保健、生活習慣病
6	高齢者保健、難病・健康教育
7	精神保健福祉、産業保健
8	筆記試験

評価方法	筆記試験にて評価する
教科書	社会・環境と健康 公衆衛生学 2023年版
参考書	なし
備 考	

## 2023年度 講義要項（授業計画）

## 2023年度 講義要項（授業計画）

## 2023年度 講義要項（授業計画）

## 2023年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	整形外科診断総論（診察の基本 検査 等）
2	整形外科治療総論（保存療法 手術療法 等）
3	整形外科疾患総論（感染症 リウマチ 変形性関節症 等）
4	整形外科疾患総論（熱傷 骨腫瘍 軟部腫瘍 神経疾患 等）
5	整形外科疾患各論（リウマチ）
6	整形外科疾患各論（頸椎疾患）
7	整形外科疾患各論（腰椎疾患）
8	整形外科疾患各論（股関節疾患）
9	整形外科疾患各論（膝関節）
10	整形外科疾患各論（上肢）
11	整形外科疾患各論（スポーツ）
12	整形外科疾患各論（まとめ）
13	整形外科外傷学（軟部組織損傷 脊椎・脊髓損傷 末梢神経損傷 等）
14	整形外科外傷学（骨折・脱臼 等）
15	筆記試験

評価方法	筆記試験にて評価する
教科書	標準整形外科学 第14版 医学書院
参考書	なし
備 考	

## 2023年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	心身症・神経症
2	ストレス関連障害・睡眠・摂食
3	脳の急性・慢性障害
4	アルコール・薬物関連障害
5	児童・青年期精神医学
6	性格のかたより
7	うつ病、統合失調症
8	筆記試験

評価方法	筆記試験にて評価をする
教科書	精神医学ハンドブック　　日本評論社
参考書	なし
備　考	

## 2023年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	神経系の構造と機能
2	脳神経、脊髄神経、髄膜炎、てんかん、頭痛
3	運動神経、感覚神経、脳画像検査
4	運動ニューロン疾患、認知症
5	脳腫瘍、脊髄疾患、重症筋無力症、パーキンソン病
6	免疫性神経疾患、脳卒中
7	ロボットリハビリテーション、末梢神経疾患、筋疾患
8	高次脳機能障害、失語症、終講試験

評価方法	レポート、出席、筆記試験等を加味し総合的に評価をする
教科書	病気が見える Vol. 7 脳・神経
参考書	なし
備 考	

## 2023年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	小児科総論・診断と治療の概要／感染症
2	新生児・未熟児と疾患／先天異常と遺伝病
3	神経・筋疾患／重症心身障害児・医的ケア児
4	発達障害とその周辺疾患と二次障害／耳鼻科疾患／眼科疾患
5	骨・関節疾患／循環器疾患／呼吸器疾患
6	腫瘍性疾患／内分泌疾患・代謝疾患／泌尿器疾患
7	血液疾患／免疫疾患・膠原病
8	終講試験

評価方法	筆記試験100%
教科書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 小児科学第6版 (医学書院)
参考書	標準小児科学 第8版 (医学書院) NEW小児科学改訂第2版 (南江堂) 病気がみえるvol. 15 小児科 第1版
備 考	本来は15回かかる内容ですが、7回で要点を学ぶ内容なります。パワーポイントは情報量が多くなるため、板書で授業を進めますのでノート記録を頑張ってください。板書事項から試験を作成します。なを、教科書の章の内容で組んでいますので、該当箇所を事前に目を通しておいてください。

## 2023年度 講義要項（授業計画）

実務経験のある教員等による授業科目					<input checked="" type="checkbox"/>
科目名	老年医学			担当講師	浅川 育世
分 野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験	理学療法士としての実務経験
単位数	2 単位	時 間	30 時間	学 年	2年次
概 要	老化に伴う機能・心理の変化と疾病の関係、高齢者に多い疾患の病態と治療、高齢者医療で重要な機能評価法と退院支援の実際、高齢者をめぐる社会的問題などを総合的に学習する。				
到達目標	1. 老化について説明できる。 2. 高齢者に多い疾患について説明できる。 3. 高齢者に対するケアについて説明できる。				

回	授業計画・内容
1	老化とは
2	高齢者への接し方
3	加齢に伴う変化：生理機能
4	加齢に伴う変化：運動機能
5	廃用症候群・誤用症候群・過用症候群
6	認知症とは
7	高齢者の脳血管障害、高次機能障害
8	高齢者に多い運動器疾患①
9	高齢者に多い運動器疾患②
10	高齢者の循環器疾患
11	高齢者の呼吸器疾患
12	生活習慣病のリハビリテーション
13	嚥下障害
14	課題発表
15	期末試験

評価方法	出席、レポート、筆記試験等を加味し総合的に評価する。
教科書	なし
参考書	老人のリハビリテーション第7版 医学書院 老年医学テキスト第3版 メジカルビュー コメディカルのための専門基礎分野テキスト 老年医学第2版 中外医学社
備考	

## 2023年度 講義要項（授業計画）

## 2023年度 講義要項（授業計画）

## 2023年度 講義要項（授業計画）

## 2023年度 講義要項（授業計画）